

第11回 日伊土砂災害防止技術会議について（報告）

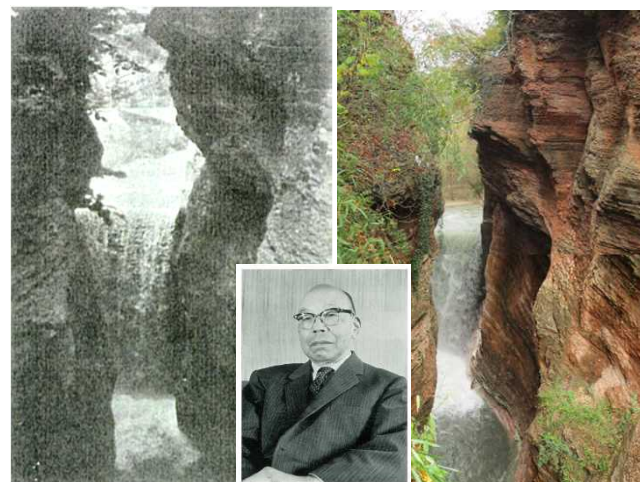
- 第11回日伊土砂災害防止技術会議を11月10～15日にイタリア国内で開催。
- 2009Montaguto地すべり災害対応現場の視察を実施したほか、土砂災害対策、地すべり対策をテーマに、両国の災害対応の取組み、地すべりの調査観測手法・発生予測の取組みについての研究の紹介や意見交換を実施。

※日伊土砂災害防止技術会議は、日本・イタリア共和国の土砂災害対策について、議論・意見交換を行い、科学・技術協力の推進に資することを目的として、第6回日伊科学技術合同委員会（1998年11月）での合意に基づき実施しているもの。

▼全体行程

月日	旅程
11/10(土)	出発、入国
11/11(日)	現地視察 (Ponte Alto 砂防堰堤ほか)
11/12(月)	イタリア国家研究評議会(CNR)本部 地球システム科学・環境技術局次長表敬
11/13(火)	現地視察 (Monteaguto地すべり対策事業現場ほか)
11/14(水)	土砂災害防止技術本会議
11/15(木)	出国
11/16(金)	帰国

“砂防の父”と称される赤木正雄が留学中に視察し、のちに日本一の高さを誇る白岩砂防堰堤の設計の参考としたとされるPonte Alto堰堤を視察。



CNR本部 表敬



(右から4番目)
CNR本部地球システム科学・環境技術局
アントネッロ・プロベンザーレ次長
(右から3番目)
栗原砂防部長

▼日伊土砂災害防止技術会議（本会議）の概要

1. 日本側からは砂防行政に関する取組みや地すべり発生予測等に関する研究に関する話題提供を行った。イタリアからは2009年豪雨による地すべり災害や2016年イタリア北部地震への緊急対応についての話題提供があった。また、Earth Flow（深層からの崩壊で、やや速度のある地すべり）等に関する研究・取組みの紹介もあった。
2. 共同研究および情報共有を継続すると共に、土砂災害に係る砂防技術のみならず行政課題についても議論を進め、次回は2020年に日本で開催することに合意し、議事録へ署名。

日伊土砂災害防止技術会議の様子



Montaguto地すべり災害現場視察

